

金沢バストリガー協定

産学官の連携による公共交通利用促進



金沢大学
北陸鉄道株式会社
金沢市交通政策課

金沢大学

☆郊外移転

- ・ 学生の**通学手段の確保**が必要
- ・ 自動車利用により**交通事故**が増加



利便性の高い
バスがほしい

金沢市

両者の思いを
つなげる方法はないのか？



北陸鉄道

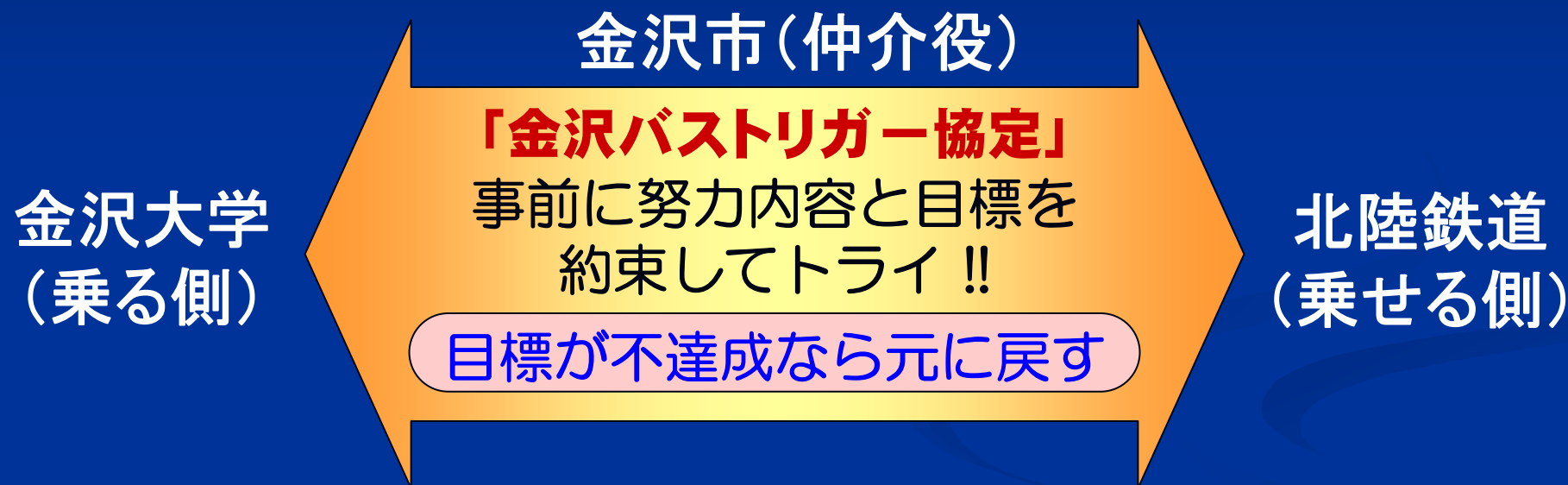
☆利用者が減少し収益が悪化

- ・ 効果的な対策がない
- ・ 新しい対策に**利用者は無反応**



バス事業者だけの
利用促進は限界

乗せる側と乗る側の**双方の努力**があれば**実現**できるのでは！



『トリガー』(引き金・誘因)

- ・銃の**引き金**は離せば元に戻ることになぞらえて
- ・閉塞感のある公共交通活性化の**誘因**になって欲しい

北陸鉄道(乗せる側)

☆ 安い運賃の提供

- ・ 170円・200円 ⇒ 100円
- ・ 利用者増に対する増便

金沢大学(乗る側)

☆ 利用を促進する努力

- ・ 大学をあげての周知・指導
- ・ 自動車利用の制限
低学年の禁止、駐車場制限 等

料金の減額分を利用者増加によりカバー

【目標：採算ライン】

117,090人 (H17基準)

→ 221,687人 (89%増)

<北陸鉄道のICカード利用者を対象>

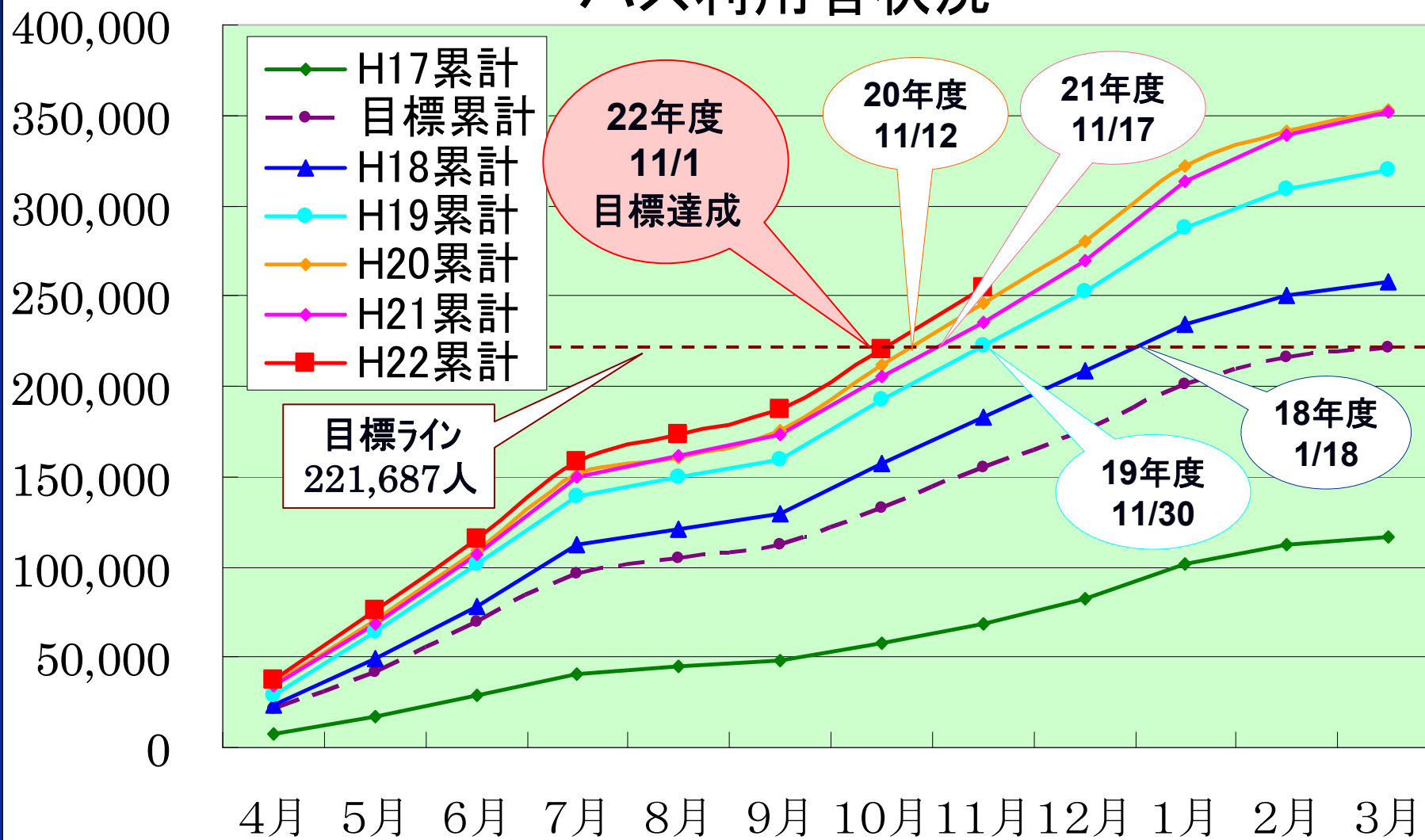
達成できな
いと元に!!



(ICa利用者数の推移)

利用者累計人数

バス利用者状況



【成果】

- ・「乗る側」と「乗せる側」双方の努力で大幅な利用者増を達成
総利用者数 約 82 万人（約 26 万人増加 +46%）

【課題】

- ・利用者増により総収入は若干増加したが、輸送量の増加に対応したバス増便コストにより収益は悪化
- ・天候や長期休暇などによる偏った輸送需要の平準化

【今後の対応】（5年の協定期間を終え、新協定へ）

- ・新基準による目標設定と定期的フォローアップ
- ・輸送需要の平準化と効率的な輸送体系構築の検討
- ・さらなる利用者増加手法の検討
- ・WIN・WIN の関係の確立